

平成29年丁酉歳 謹賀新年 新たな一年の幕開け



去る12月8日、大日堂にて「すすはらい」が行われました。総本尊・大日如来さまの一年間のすすを払い、感謝の気持ちをお伝えしようと大日堂には多くの方が参拝されました。

八事山文庫

2901号

特集

星祭・節分4・5ページ
企業研修のご案内11ページ

※「縁日さんぽ」「ひとこと」のほろはあそびはお休みです。

杜のコラム

「コケコッコー」。英語圏では「クックドゥードゥル」「ドゥー」、フランスでは「コッリコ」、ドイツでは「キケリキー」。たかが鳴き声と思えなれ、世界で使われている言語は実に六千種類にのぼる。六千の鳥が、それぞれの言葉で「さあ、さあ、さあ」をつづく世の中は広い。自分と異なる世界に触れる機会といえは旅である。

うか。特に日本を出てみれば異なる言葉、そして異なる考えの中へと飛び込んでいくことになる。

何年か前、欧州を二人で旅した。順調に足を進め、異国の水にも慣れたかと思つた頃、ふと目覚めるとなんだか体が重い。でも外に出なければ勿体ない。そこでホテルのロビースタッフに尋ねた。「少し体が怠くて遠くへは行けそうにないんだ。この近くで見どころってないかな」。きつと日本の洗練されたホテルマン

であれば、生真面目に近くの観光名所を教えてくださいとお願いし、しかし、それを聞いた彼は大笑いして「さう言つた。日本人はみんなそんなに勤勉なのか？ 疲れたのならベッドでゆっくり寝てればいいじゃないか！」

これがもし日本で、もしくは知人に言われたのならカチンときたかもしれない。わざわざ旅行に来ているのに、なんてことを言うのかと。しかしその時は自分でも驚くほど素直に「その通りだ」と思つたのだ。疲れたときは休めばいい。まったく彼の言うとおりだった。そのスタッフにお礼を言い、カフェでコーヒーとホットドッグを買つて頬張つたあと、丸々一日、心ゆくまで眠つたのである。

旅、殊に一人旅の醍醐味はその自由さに尽きる。どこへ行き、何をするか。何を見て、何を食べるか。加えてあの時出会つた彼から学んだのは「なにもしない」という選択だつてありだということだった。ひたすらに道を前へ進むばかりが正解ではないのだ。

我々の生は一方通行の旅のようなものだと思ふ。ときに脇に逸れ、ときには立ち止まりながら、己の意志で歩いてゆけることの喜び。暁鶏と共に、またあたらしい一年が始まる。

星祭「開運」祈禱札

◆申込締切
振込 1月20日(金)
来寺 1月31日(火)

厄年とは

一生のうちで何らかの厄難に遭遇する恐れが多い年齢をいいます。厄除けをするにあたり、一年の無事を願う御札に身代わりになっていただき、その災いを少しでも小さくすることが出来ます。※真言宗では男女共通の厄として考えます。

赤字厄年 厄払い祈禱をおすすめします

特に注意 大凶・体力低下を起しやすいため年齢なので要注意

前厄 誕生日前後から厄がはじまると言われています

平成29年丁酉歳 年齢早見表(数え年)

九曜星	七曜星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	木曜星	月曜星	太陽星
吉	●大吉	●大吉	●大吉	●大吉	●大吉	●大吉	●大吉	●大吉	●大吉
九曜星	一白水星	二黒土星	三碧木星	四緑木星	五黄土星	六白金星	七赤火星	八白土星	九紫火星
13 同忌	1 とり	2 さる	3 ひつじ	4 うま	5 へび	6 たつ	7 うさぎ	8 とら	9 うし
7 同忌	10 ねずみ	11 いのしし	12 いぬ	13 とり	14 さる	15 ひつじ	16 うま	17 へび	18 たつ
3 同忌	19 うさぎ	20 とら	21 うし	22 ねずみ	23 いのしし	24 いぬ	25 とり	26 さる	27 ひつじ
1 同忌	28 うま	29 へび	30 たつ	31 うさぎ	32 とら	33 うし	34 ねずみ	35 いのしし	36 いぬ
平成28年逝去	37 とり	38 さる	39 ひつじ	40 うま	41 へび	42 たつ	43 うさぎ	44 とら	45 うし
平成27年逝去	46 ねずみ	47 いのしし	48 いぬ	49 とり	50 さる	51 ひつじ	52 うま	53 へび	54 たつ
平成23年逝去	55 うさぎ	56 とら	57 うし	58 ねずみ	59 いのしし	60 いぬ	61 とり	62 さる	63 ひつじ
平成17年逝去	64 うま	65 へび	66 たつ	67 うさぎ	68 とら	69 うし	70 ねずみ	71 いのしし	72 いぬ
昭和60年逝去	73 とり	74 さる	75 ひつじ	76 うま	77 へび	78 たつ	79 うさぎ	80 とら	81 うし
	82 ねずみ	83 いのしし	84 いぬ	85 とり	86 さる	87 ひつじ	88 うま	89 へび	90 たつ
	91 うさぎ	92 とら	93 うし	94 ねずみ	95 いのしし	96 いぬ	97 とり	98 さる	99 ひつじ

背景色の□は和暦の区切りです。

寺通

その三十一

たかのしょうせい
高野 正清

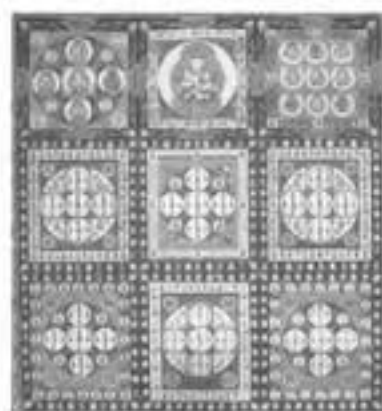
「明けましておめでとうございませう。今年もよろしくお願いします。」
長年続くこの挨拶も若い世代の人たちに言わせれば「あけおめ、ことよろ」。言葉を短くして、「新年の挨拶」という形だけが残っているように少し寂しいなと思います。この挨拶には相手への心遣いやおかげさまの気持ちがたくさん詰まっていると私は思います。形ばかりでなく、このような大切な気持ちも伝えていきたいものです。
さて十三回忌本尊大日如来さまの話が途中で止まりました。今月は続きをお話ししていこうと思います。

曼茶羅とは

前回の話をとおさらいしましょう。
真言宗の教えの根本が書かれている教典には「大日経」と「金剛頂経」の二つがあり、大日如来さまはこの二つの経典に基づいたお姿で表わされます。

<七日経・年忌法要と十三仏>

1	初七日	不動明王
2	二七日	観世音菩薩
3	三七日	文殊菩薩
4	四七日	普賢菩薩
5	五七日	地藏菩薩
6	六七日	弥勒菩薩
7	七七日	薬師如来
8	百々日	観世音菩薩
9	一周忌	勢至菩薩
10	三回忌	阿彌陀如来
11	七回忌	阿闍如来
12	十三回忌	大日如来
13	三十三回忌	虚空蔵菩薩



△金剛界曼茶羅

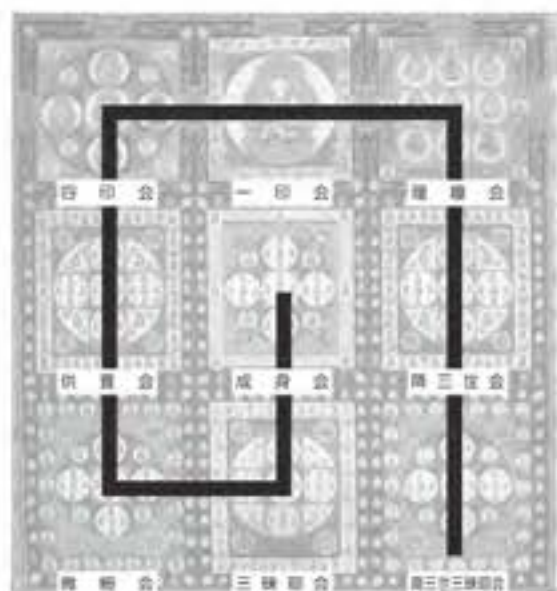
というお話をしました。これらを深く解いていくと、曼茶羅の世界にたどり着きます。曼茶羅とは仏さまの悟りの境地、または宇宙・世界そのものを表したものです。…むずかしいですね。目には見えない仏さまの世界を、仏像や様々なシンボル、文字、神々などを用

九会曼茶羅の世界

いて目に見えるよう象徴的に表現したもの、と考えてください。その姿かたちや用途によって様々な分類があります。
さて、先に登場した金剛頂経に基づく教えを表現したものを「金剛界曼茶羅」と言い、「九会曼茶羅」とも呼ばれます。ちよつと見てみましょう。

「九会」とは仏の覚りを九つに分けて表現したものです。中央に中心となる「成身会」があり、その下に「三昧耶会」、その左に「微細会」、その上に「供養会」、「四印会」、その右に「一印会」、「理趣会」、その下に「降三世会」、最後に「降三世三昧耶会」という並びになっています。

「の」字のように「成身会」から「降三世三昧耶会」に向う道のりを「向道門」と呼びます。これを下化衆生といい、仏さまの世界から私たちを救うための道です。逆に「降三世三昧耶会」から「成身会」へ向うのを「向上門」と呼びます。これは上求菩提といっ



△向道門・向道門

救いと悟りの道標

今までの初七日から七回忌までの間に、たくさんのお仏さまに教えをいただきました。十三回忌は総おさらい。私たちを救う道標と、そして私たちが悟るために必要な智慧を与えてくれるのが十三回忌本尊大日如来さまなのです。これを一つの区切りとして仏の智慧が完成されるのでしょうか。

この後も一七回忌、二三回忌、二七回忌、三三回忌、五十回忌と続いていきます。それは形だけではなく故人への思いをはせることを忘れないよう勤めていきたいものです。

ツウの細道

暦の上では新年を迎えましたが、季節でいうとまだ年は明けず！旧暦の新年は二月三日の春分になります。その日から年が変わり星の巡りが変わります。星札の準備はお早めに！また星札は家族ひとりひとり、受けるようにしましょう。



平成二十九年 興正寺年中行事

毎月 諸堂縁日	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月
●五日 大龍求明王(西山本堂)■ ●八日 大日如来(大日堂)■ ●十三日 虚空藏菩薩(徳満堂)■ ●十五日 阿彌陀如来(東山本堂)■	十三・十五日 七月盆・焚燈籠会	十日 観堂会	三・五日 大般若経転読祈禱会 (旧暦四月八日) 天花まつり	十五日 (旧暦三月二十一日) 結縁灌頂(金剛界) (興正堂)	十七・二十三日 春季彼岸会 ●二十日 (お中日) 動物恩恵法会 興正寺施主恩恵法会 ●二十五・二十六日 観桜会(さくらカレッジ)	●十二日 (興正堂) (旧暦二月十五日) ●十三日 能満堂秘仏開扉 ●十九日 永代祠堂法会	●五日 大般若経転読祈禱会 (興成道会) (旧暦十二月八日) 一・四日 初護摩祈禱会 一日 修正会
●十八日 觀音菩薩(觀音堂)■ ●二十一日 弘法大師(弘法堂)■ ●二十四日 地藏菩薩(徳満堂)■ ●二十八日 不動明王(不動尊堂)■	三十一日 除夜の鐘	二日 紅紫まつり	一・五日 三千仏名会(懺悔会)	●四日 観月会 ●五・十三日 観音堂秘仏開扉 ●七・八日 興正寺施主・檀越行列	●二十・二十六日 秋季彼岸会(二十三日 (お中日) ●二十四日 特別永代祠堂法会 ●五日 大般若経転読祈禱会 ●十六日 大施餓鬼法会	●十六日 精霊流し 戦没者追悼恩恵法会 ●十五日 盆踊り ●十二日 初盆合同供養会 ●十一日 興正寺施主恩恵法会 ●十日 觀世音菩薩九万九千日 ●六日 施餓鬼法会 ●五日 (興正堂) (旧暦六月十五日)	●五日 (興正堂) (旧暦六月十五日)

■マークの日は露店がございます。

▲マークの法会では、特別朱印授与がございます。

星祭りとは

人は生れ有した自らの星に障りがあるとき、毎年2月3日にその星の厄を取り除く厄除開運・安穩等を願い、節分厄除星祭を修す。

この日までに、申し込まれた御札を手書きし、僧侶が護摩を修し、読経・祈禱を行います。事前申込された方の御札授与は2月5日からとなります。

お彼岸とは

春分・秋分の日を「お中日」とし前後3日、都合7日間「佛法は中道と崇とふ。この時節は昼夜が等分で長短がない。誠に中道の時で、仏事を行うのに佳い季節である。」

心に仏性(仏になる種)があり、彼岸の訪れは閉ざされていた人の心、忘れていた仏心を思い起こす期間です。

盆供養とは

7月13日・15日・8月13日・15日をお盆といい、先亡精霊の滅罪と得脱の為に修する。

お仏壇の前にナス(牛)・キュウリ(馬)・種のある果物などをお供えし、この時期に帰ってこられる祖先をもてなし供養をします。日本では推古天皇が606年7月15日に初めて行ったとされています。

施餓鬼とは

餓鬼道(貪りの世界)に落ちた餓鬼の為に、諸種の飲食を施す善根功徳を以て供養す。

私たちが生きるために毎日食す供養されることのない生き物・亡き人々の滅罪追福の為に塔婆を建立し、年に1度供養を行う法会です。毎年8月第1週日曜と16日に行われます。



星祭

申込締切／振込 1月20日(金)・来寺 1月31日(火)

1年間 家でお祀りし 災いを引き受ける御札

星祭「開運」祈禱札

2月5日(日)から3月5日(日) 9時～17時の受け取り

星祭は宿曜経という密教占星術の教えです。9年ごとに回ってくる星によって吉凶が決まるものです。

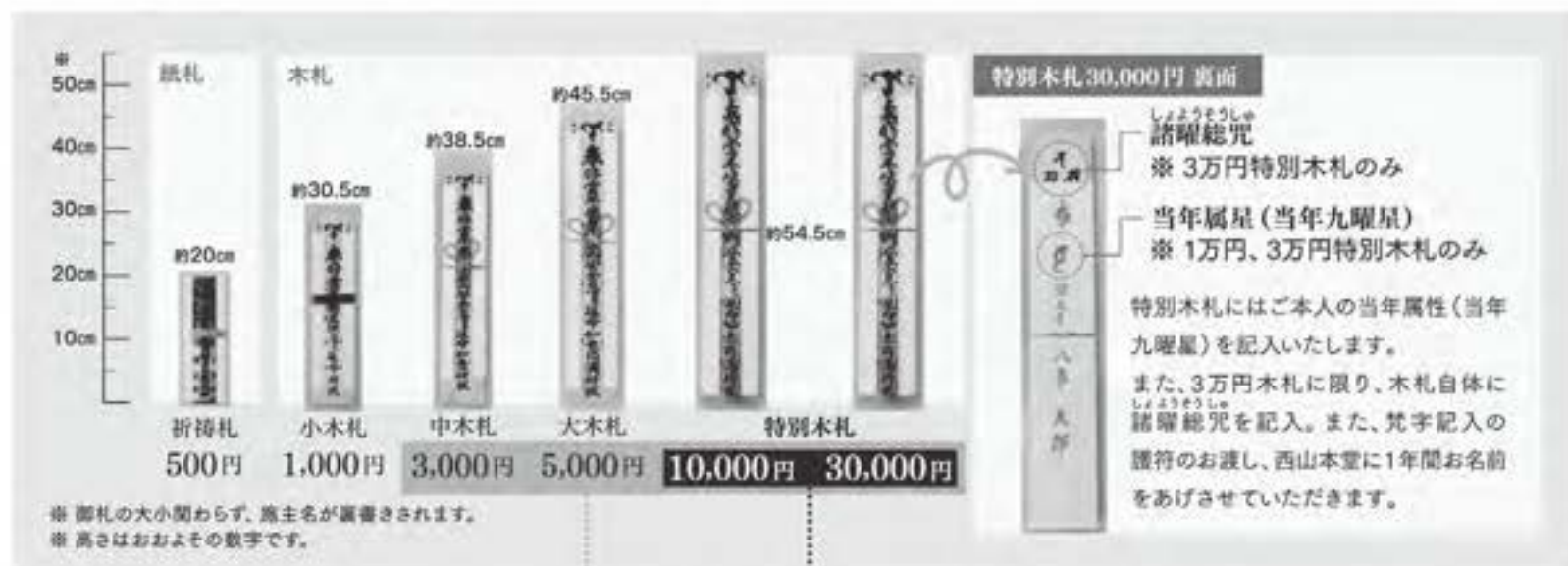
御札に一人ずつ、お名前と数え年を書き、法会を勤めることで、身代わりの御札になります。

ですので、一人に一体の御札をお持ちいただくことが大切です。よい年はよりよく、悪い年は少しでも災いを軽くすることが目的です。



興正寺の御札は一体一休僧侶の手作り

P1の年齢早見表で自分の星回りをチェック!



2月3日だけの縁起物 福豆茶席

各回限定
20名

◆11時・13時30分・15時(所要1時間)

ご自身で茶からお茶を飲み、茶碗に入った福豆ごいただきます。これを飲めば1年の邪気が祓える縁起物とされています。

3,000円以上の御札をお申込みの方に限りご予約いただけます。
申込多数の場合、抽選となりますのでご了承ください。
1月26日(日)までに当落をご案内いたします。

申込締切 1月20日(金)まで 1人1,000円(当日支払)



星祭御札祈禱会のご参加について

真言秘奥の「星祭御札祈禱会」として厳修され、一人一人に定められた星を供養し、開運厄除を願い、年に一度だけ修法される特別な法会です。その法会の成り立ちから、當山では一般の方の参拝が制限されていますが、1万円以上の「星祭開運祈禱札」をお申込みいただいた方(本人のみ)は、当法会(御焼香等)にご参加いただけます。

日程 平成29年2月3日(金) 19時～(約2時間)

お食事・星茶・法話の御接待あり。
後日、該当の方へ當山より別途ご招待申し上げます。

星祭・星供養とは

古来より密教では天体の動きは人の営みと密接に関連すると考えられてきました。「人の営みは、生まれながらに定まる自身の星と毎年巡りくる星(九曜星)のもとにある」と考えられています。自身の星は生まれた年の干支により七つの星で成り立つ北斗七星のいずれかに定められ一生変わらないとされています。また毎年変わりゆく星と自身の星との巡り合わせでその年の吉凶が決まります。その為、星回りの悪い年は悪事災難から免れるように、星回りのよい年はよりよい一年となるように、僧侶は真言宗の秘法をもって星を供養し御札に仏さまを宿す法会を厳修します。



予約締切／来寺・振込 1月20日(金)

「厄」は豆をまいて寺で落としましょう

節分「厄除」祈禱会

2月3日(金)

◆受付:各回10分前より

◆時間中、まかれた豆を西山本堂内(外陣)にてお受けいただけます。(無料)

時間	特別厄除 祈禱①	厄除祈禱 ②③④	時間	特別厄除 祈禱①	厄除祈禱 ②③④	時間	特別厄除 祈禱①	厄除祈禱 ②③④	時間	特別厄除 祈禱①	厄除祈禱 ②③④
10:00		●	13:00	★	●	14:40		●	18:00	★	●
10:20		●	13:20		●	15:00		●	18:20		●
10:40		●	13:40		●	15:20		●	18:40		●
11:00	★	●	14:00	★	●	15:40		●			
11:20		●	14:20		●						

① 要問合せ 各回 限定4名

特別厄除祈禱・節分厄除弁当・
祈禱済恵方巻・福豆(大)付
..... 10,000円

② 要予約

厄除祈禱・祈禱済恵方巻・
福豆(大)付 8,000円

③ 要予約

厄除祈禱・福豆(小)付
..... 6,000円

④ 予約優先 <当日受付可>

厄除祈禱 5,000円

特別厄除祈禱

最前列で、祈禱をお受けいただけます。また、ご自身がお持ちの物や身につけている物を、護摩の炎で加持いたします。自身の厄を滅し1年間お守りいただけます。

祈禱済節分厄除弁当

節分にちなんだ特製厄除弁当。
開運厄除の祈禱済です。(お持ち帰り用)

祈禱済恵方巻

“七福”の具材に、甘く、風味がよいことで
評判を呼んだここ地元の「八事五寸人参」
を加えた、興正寺だけの特製祈禱済恵方巻。
(お持ち帰り用)



節分「厄除」 祈禱会の流れ



御祈禱を
受ける



▲ご自由に参加いただけます(無料)

豆をまいて
「厄」を落とす

厄とは

星の巡り合わせによって生じる悪事災難のことです。「本厄」と言って大きな厄が来る年があり、男性は四十二歳、女性が三十三歳と言われますが、これは男性と女性が身体の変化が訪れるのがそれぐらいの歳なので特に気をつけてくださいと言うことです。三十三歳、四十二歳は男女問わず「本厄」となります。本厄ではない時でもその年々によって大なり小なり厄が訪れます。厄は逃れることができません。逃れられない厄をどうすればいいのか。「星祭開運厄除祈禱会」で御祈禱された星祭開運祈禱札をお持ちになることをお勧めします。





お寺ですごく 親子時間

季節の行事カレンダー

3月 仏教や文化・教養をテーマにした学びの場 さくらカレッジ 親子で参加できる 体験講座もあります!	家のライトアップも人気! 観桜会 - かんおうかい - 境内の桜の開花に 合わせて行われます。
6月 幻想的なホタルの舞を楽しむ 観螢会 - かんげいかい -	ピオトープにホタルを 放ち、初夏の風情を楽しみます。
8月 興正寺の夏の風物詩 盆踊り・精霊流し	境内には屋台が並び、 多くの人で賑わう2日間。
10月 十五夜に月を眺める 観月会 - かんげつかい -	家族で参加できる 楽しいイベントも 盛りだくさん!
12月 秋の境内はもみじでいっぱい! 紅葉まつり・もみじまつり 大願日の翌日行事 除夜の鐘	お寺で過ごすお正月 初詣・新年初遊び
2月 紅を焼いて福を呼びこむ 節分(豆まき)・星祭	かるた、すごろく、羽根つきなど なつかしの正月遊びが盛りだくさん!

地域版 八事山文庫

睦月 旧暦1月のこと
親族知人が往来し、仲睦まじくする「睦み月」

小寒 一月五日
ますます寒さの厳しくなる「寒の入り」。この日から節分までの二十日を「寒の内」とよぶ。

大寒 一月二十日
年で最も寒さが厳しくなるころ。「三寒四温」という言葉のように、寒い中でも少しだけ春の気配を感じる。

私たち日本人は、古の昔から、我が子、孫たちの為に健やかなる成長を祈り、その節目ごとに報恩感謝の気持ちを持て神仏に捧げてきました。私たち興正寺は、そんな親子や家族の絆を大切に、子どもたちの人生の節目に寄り添うお寺として一番身近な存在でありたいと願っています。





昨日 今日 あした…

八事のお山の

おかげさまで皆仲良く…

紅葉まつりが終わると、八事のお山は冬装束に衣替えを行います。写真は、この時期お山に色を添えるツワブキの鮮やかな黄色の花です。

ある日、一本の木の色が、根元近くから伸びた枝に、白い花を見つけた。根元付近から枝は剪定してしまふことが多いのです。先月ご紹介した夫婦の木と一緒で、こういつた不思議な共生をしている木々はよく見られます。平成二十八年、八事のお山を大切にしたいと、思い立ちました。

木々や花、鳥も虫も、みんな「お互いさまで譲り合い」「おかげさまで」と助け合って生きている、そんな



ツワブキの花

毎月21日 興正寺マルシェ

マルシェ×竹翠亭

毎月二十一日のマルシェにあわせ、竹翠亭が「和」の入口にご案内します。どうぞお気軽にご参加ください。

「マルシェ点前」

僧侶によるお点前でお抹茶を
楽しみましょう！(五百円)

十時～十三時

「マルシェ着付体験」

服の上から着付けてみる、気軽な体験です(無料)

十時～十四時

子ども寺子屋くらぶへのお誘い

興正寺のお茶室・竹翠亭スタッフが主催する、子どもたちと昔ながらの年中行事や四季折々の遊びを楽しむ会です。

登録していただくと、行事案内をお届けいたします。

(会費無料)

興正寺へのお問い合わせは
・お電話 052-832-2801
(年中無休9:00～18:00)
・E-mail yagotosan@koushoji.or.jp
・興正寺HP、公式Facebookは
随時更新中です

八琴庵 営業時間と定休日のお知らせ

- ◆営業時間 9:00～17:00(L.O.16:30)
- ◆定休日 毎月5日を過ぎた火曜日
1月は1月10日(火)、
2月は2月7日(火)です。

お知らせ 掲示板

※12月より八琴庵の営業時間が変更となりました。
営業時間 / 9:00～16:30(L.O.16:00)
(モーニング) 9:00～11:00
(ランチ) 11:00～14:00

●甘味・食事処「八琴庵」より

予約販売開始 ヤゴトラカン

ご要望多数につき、そばがき饅頭「甘味長命菜 ヤゴトラカン」の予約販売を開始させていただきます。
お渡し前日(営業時間内のみ受付)までに、八琴庵にてご予約ください。



写真はイメージです

【価 格】
3個入り/590円・6個入り(ご祈祷済そば茶付)/1,290円
【販売場所】甘味・食事処 八琴庵
【予約方法】
・お渡し前日(営業時間内のみ受付)までに八琴庵にてご予約ください。
・先払いのご予約のみ受付(当日販売は致しかねます)
【お問合せ】TEL. 052-832-2801(八琴庵まで)

仏事の

ひ、ふ、み、



仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいませんか？

自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないのかな。いざその時になってみないとわからない仏事のおれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その24 「仏さまにおねがい！」

仏さまってすごたくさんいますよね？

興正寺へ初詣に行ったんですが、どの仏さまに何をお願いしよう…ってお母さんと悩んじゃいました。

なるほど。じゃあ、願い事ごとにお参りする仏さまを簡単に紹介してみようか。
あくまで一例だから迷ったら遠慮なく聞いてくださいね。

- ・「病氣平癒」「安産」「安楽往生」/大随求明王
- ・「良縁成就」/愛染明王
- ・「学業成就」/文殊菩薩
- ・「合格祈願」「ほけ封じ」/虚空蔵菩薩
- ・「延命長寿」/寿老人(七福神)
- ・「一願成就」/交通安全/不動明王
- ・「諸願成就」/弘法大師
- ・「心願成就」/大日如来



興正寺ホームページでは
仏事のお悩みをズバッと
解決!トップページから、
「仏事とお墓
のお悩み解
決」をクリック!



寺宝

通心

寺宝公開② 蓬莱山に鶴

新年を迎えるにあたり、寺の大書院にある床になにを掛けるかと考えたとき、真つ先に浮かんだのがこの一幅です。富士山、鶴亀、七福神など、おめでたい図柄は数多くありますが、「蓬莱山」もお正月と深い関わりがあります。

そもそも蓬莱山は、中国の神仙思想における東方の三神山の一つで、東海に浮かぶ不老不死の仙人が住する島のことです。日本にも古くから伝わっているように、平安時代に寛輔という僧が、「蓬莱山とは富士山を指す」と述べているほか、日本最古のSF物語とも言われる『竹取物語』では、かぐや姫が「東の海に浮かぶ蓬莱」という山にある、蓬莱の玉の枝を求婚にこたえる条件としています。

また、神聖な物、めでたい物としてそれを形づくったものが貴族の祝儀や酒宴の装飾用として用いられ、室町時代あたりからは正月の祝い飾り「蓬莱飾り」となり、現在も関西を中心に伝わっています。さて、軸にもどり画面をみると、海に浮かぶ山は緑豊かななだらかな山ではなく、こつこつとした岩肌に見え、そこに

そこに吉祥の象徴である松、竹、梅が伸びやかに枝を広げています。山の上と海辺あたりにそれぞれ建物があり、たしかに仙人が住していることを伺わせます。

ここで少し考えるのは、仙人は何人いるのかということ。常人を超越した肉体と心をもつ仙人ですから、一人でもさみしくはないのかもしれない。でも、大空を飛来する鶴たちを見上げ、歓迎の声をあげているかもしれない。

「蓬莱山に鶴」、絵のどこかに描かれていたかもしれない仙人を探しにどうぞお越しください。



△蓬莱山に鶴

* 普門園拝観 五百円(早茶付)



興正寺 初釜

- ◆と き 平成29年1月9日(月・祝)
10時30分~15時30分
(時間指定あり)
- ◆と ころ 茶室 竹翠亭
- ◆茶 席 濃茶席、薄茶席、点心席
- ◆茶 券 5,000円(茶券は事前購入)
- ◆お問合せ先 茶室竹翠亭(10時~16時)



***** 迎春呈茶 *****

新年を祝い、金粉入り抹茶と正月菓でお迎えいたします。

- ◆と き 平成29年1月1日(日)~1月4日(水)
10時~16時
- ◆と ころ 茶室 竹翠亭
- ◆拝 観 料 500円
- ◆お問合せ先 茶室竹翠亭(10時~16時)



竹翠だより

お茶が教えてくれた
しあわせ

無から有へ

竹翠亭の坪庭が真つ白な雪に覆われ、凛とした姿を見るのはまた格別です。雪見障子を上げれば外の銀世界と繋がり、自然と一体になる瞬間がきます。

お茶室、そこには床の間、壁、障子、襖、窓などがあるだけで何の装飾もありません。なんら装飾のないその部屋を自在に操るのが室礼

です。工夫ひとつで多様な空間を創ってしまう創造力と器用さは、西洋にはない日本の美意識でしょう。

「室礼」とは、平安時代ハレの日の儀式に寝殿の母屋や庇に調度を立てて室内を装飾したことをさす。

竹翠亭でもお茶会の前には勿論ですが、普段もお寺に伝わる貴重なお道具の中から様々な物を選び、その季節や行事に沿って室礼を試みます。

掛け軸を選び、そこからどのようなお道具を組み合わせていくのか思考をこらします。ひとつひとつ丁寧に

…お迎えするお客さまのことを思いながら逡巡する。大変だけれど楽しい時間です。お茶の習わしが基本で

すが、時には竹翠流に飛躍してしまうこともあり、そんなときは思わずスタッフの笑みがこぼれます。

小さな飾り、端正にこめた白邸の花、道草して摘んだ野草などみんな愛情込めて持ち寄ることも楽しみのひとつです。

そして無から有が生まれる形が整った時、あとはお客さまを迎え一緒にお茶の時間を楽しむ幸せが生まれます。

客さまを迎え一緒にお茶の時間を楽しむ幸せが生まれます。

客さまを迎え一緒にお茶の時間を楽しむ幸せが生まれます。

客さまを迎え一緒にお茶の時間を楽しむ幸せが生まれます。



八事山歳時記

紅葉まつり

十二月二十六日(土)・二十七日(日)

第五回を迎えた「紅葉まつり」が境内でにぎやかに行われました。今年は「古本供養市」との同時開催でした。人力車で結ばれている、いりなか会場(共催)いりなか商店街発展会なども多くの人でにぎわい、小さな秋を満喫し、お寺ならではの季節のお祭りとなりました。



△紅葉まつりでにぎわう境内



△古本供養市での法要の様子



△親子で座禅(阿息観)体験

三千の仏の名号を唱える

三千仏名会

十二月二日(木)～五日(月)

去る十二月一日(木)～五日

(月)、三千仏名会が厳修されました。佛名会とは、一年間の罪を懺悔し、過去・現在・未来の三千仏の名号を唱え、礼拝する修行です。両手・両膝・額を地面に投げ伏して一心に礼拝を繰り返す僧侶の額からは汗が吹き出します。共に行をする一般参拝者の姿もみられました。



東山奥之院大祭

十二月十五日(火)

東山本堂にて、東山奥之院大祭のお勤めが行われました。当日は一日修養会参加者も加わり、全員で善之綱(ぜんのかう)おくりを行いました。今回は寺宝の「伝弘法大師の五結杵(ごむすき)」にて、申込の方へ特別祈禱をさせていただきました。

寶珠型燭台には祈願口ウソクを灯し、その灯りがゆらめく中、阿弥陀如来さまと特別な御縁をいただく一日となりました。



大日堂すすはらい

十二月八日(木)

興正寺総本尊大日如来さまの「すすはらい」が行われ、参加者は一年間の感謝の気持ちを込めて、大きな竹で仏さまをはらいました。

毎年十二月八日、一年最後の大日如来縁日に行われ、どなたでもご参加いただく事が出来ます。



《十五枚》新田五百子
自 平成二十八年 十一月一日
至 平成二十八年 十一月三十日
ありがとうございます。心より感謝申し上げます。合掌
八事山興正寺

地蔵菩薩前かけ奉納 ご芳名

今月の「標語」

お経典から、先達の書物から、言葉から。
五重塔前掲示板よりご紹介します。

醫王ノ目ニ六途ニ觸レテ
皆藥ナリ解寶ノ人ハ
礦石ヲ寶ト見ル。
般若心經秘鍵
正清

△11月1日～ 高野 正清

商賣美味味ヲ變ヘテ
病・口・飢・舌・甜・苦・別
前のかくにかんはし、身を放つていられ、お寺を無
こころを人へは、いとおもうてあろうし、飢えた人は
美味に感じ、舌をさあろう、たが、あつた、あつた、あ
何の變化もない、いであつた、このように人間は各個人
によつて、あつた、あつた、あつた、あつた、あつた、あ
数人を説くのである。
馬祖弘法大師 性空集より、
正主

△11月16日～ 犬塚 正主

永代供養
(霊龜堂・圓照堂・法羅陀淨苑)
契約者様へのご案内

お届けのある情報の
変更手続きについて

個人情報の厳正な管理と情報保護のため、
平成29年1月1日より、お手続き時の
必用書類は、以下の内容が必要となります。

- ①本人が手続きする場合：
申請者の身分証
- ②代理人が手続きする場合：
委任状・受任者と申請者の身分証
(身分証一例：運転免許証・健康保険証など)

お手続きの詳細は下記までお尋ねください。

【お問合せ】
光明殿受付(営業時間10:00～17:00)

お坊さんと行く
興正寺団体参拝

興正寺団体参拝は當寺僧侶が随行し、一緒にお経をつとめ、バス中では法話もごさいます。
どなたでもお気軽にご参加いただけます。お寺やお坊さんを身近に感じ、仏縁を深めていただければ幸いです。

平成29年度団体参拝予定 お電話、もしくは来寺(光明殿受付)にてお問合せください

3月28日
(火)

名古屋二十一大師・七福神めぐり(日帰り) [随行僧侶] 三井正優

【申込締切】3月14日(火)

【旅行代金】9,000円(昼食代含む)

【取扱旅行会社】株式会社ワークシステムツーリスト

〒465-0021 名古屋市名東区猪子石3-113 ワークステーションビル4F TEL052-779-8777
愛知県知事登録旅行業第2-1138号(総合旅行業務取扱管理者 伊藤 弘彦)
一般社団法人 全国旅行業協会正会員

4月22日
(土)

修養会やすらぎ団参(日帰り) [随行僧侶] 梶田英伸

【申込締切】4月8日(土)

【旅行代金】10,000円(昼食代含む)

【参拝予定】元興寺 西大寺

【取扱旅行会社】名鉄観光サービス株式会社 名古屋伏見支店

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-26 ボーラ名古屋ビル TEL052-211-2315
観光庁長官登録旅行業第55号(総合旅行業務取扱管理者 佐々木 貴隆)
一般社団法人 日本旅行業協会正会員

6月1日
(木)

高野山参拝(日帰り) [随行僧侶] 未定

【申込締切】5月18日(木)

【旅行代金】11,000円(昼食代含む)

【参拝予定】奥之院 壇上伽藍

【取扱旅行会社】クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター

〒460-0008 名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL052-300-0011
観光庁長官登録旅行業第1693号(総合旅行業務取扱管理者 鷲澤 弘行)
旅行業公正取引協議会会員

◎日程、費用等は変更となる場合がございます。予めご了承ください。 ◎募集定員に満たない場合は中止とさせていただきます。
◎各参拝の朱印等をご希望の場合は別途費用が必要です。 ◎申込方法/ご来寺またはお電話にて ◎支払方法/ご来寺にて前払い

一 お寺の法会まるごと体験！

いち にち しゅう よう え
一日修養会

「成道会・節分・星祭」

平成29年1月15日(日)10時～15時30分

～お釈迦さまのお覚りと、星と一年の秘密を紐解く～

釈迦族の王子シッダールタが、世に比類なき覚りを得て釈迦牟尼仏となられ、
仏教の歴史は始まります。この日を成道会といいます。豆まきの節分も、真言宗
の秘法・星祭も、一年の節目の大きなおまつりことです。その意外な歴史と深い
由緒をお伝えします。

平成29年の一日修養会、テーマは昨年に引き続き「興正寺の法会」。

季節ごとにおこなわれる法会を、わかりやすく解説いたします。内容を学んでから法会にご参加い
ただく体験は、興正寺ならではの体験です。法会参加者には特別朱印の授与もごさいます。(一月は除く)
今年は各回、特別講師を招いて対談やレクチャーなども予定しております。
写経の時間もごさいます。こちらも僧侶が解説いたしますので、初めての方も安心してご参加いた
だけます。皆様ふるってご参加ください。

◎支 具 料：一般 2,000円 杜の響会員 1,000円(昼食付)

◎定 員：60名 要予約 ◎申込締切：1月12日(木)

◎お問合せ・お申込み：052-832-2801

※スケジュールや内容は状況などにより変更になる場合がございますので
ご了承ください。

※今回は法会参加・特別朱印授与はごさいます。

※支具料は事前にお納めいただけます。

(今後の予定)

平成29年3月12日(日)/5月3日(水・祝)/8月6日(日)/12月3日(日)



1月の興正寺講座



※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

仏讃歌

御詠歌上級

講師 鈴木隆弘

1月12日・20日 13時30分より

光明殿

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

御詠歌初級

講師 鈴木智弘

1月8日・18日・21日 14時より

光明殿

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。

体験する

阿息観(密教禅)

講師 杉浦宣秀

1月10日・20日・30日 14時より 普照殿/奥之院

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ!

阿字観

講師 杉浦宣弘

今月はお休みです

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏

講師 榎田英伸

1月21日 11時より

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

健康づくり

ゆらゆらペアストレッチ

講師 町田一寿

1月13日 ①10時②11時30分より

普照殿

支具料1,000円(予約優先当日参加可)

TERA-YOGA(寺ヨガ)

講師 BIOTIC

1月21日 10時より

普照殿

支具料2,000円(要予約・×切前日17時)

女性のためのヨガ

講師 スタジオソラ

毎週木曜日 19時30分より 西山本堂/普照殿

支具料2,000円(要予約・×切前日17時)

学ぶ

仏教入門講座

講師 森田泰澄

1月26日 14時より

普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座

講師 榎田英伸

1月18日 14時より

普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写経

1月10日

講師 西山海良

支具料1,500円

阿息観

1月24日

講師 西山海良

支具料1,500円

日々折々の書

1月23日

講師 中村 均

支具料2,000円

水墨画

1月27日

講師 山田静舟

支具料2,000円

きもの装い(初級・中級)

1月11日・19日

講師 小泉美代子

支具料2,000円

茶の古典を読む

1月12日

講師 榎田英伸

支具料1,500円

健康づくり(ゆらゆらペアストレッチ、TERA-YOGA、女性のためのヨガ)の3講座は興正寺公式ホームページよりWEB予約をすることができます。

*他の講座もWEB予約ができるよう準備中です。

※20名、30万円以下のスケジュールの一例
※研修内容はご相談に応じて変更いたします

- 9.. 30 開式(オリエンテーション)
- 10.. 00 仏教講座(入門編)
- 10.. 30 外務(掃除など)
- 12.. 00 食事作法と昼食
- 13.. 30 阿息観(あそくかん)
- 14.. 30 護摩祈祷
- 15.. 30 和の作法
- 16.. 30 生き方の心構え法話
- 17.. 00 閉式

スケジュール例

企業研修が好評の「八事山興正寺」。
仏教に触れながら仕事への思いを再確認する学びは、
自分を振り返る学びでもある。修行を通し、
仕事や人生を見つめ直す

企業等研修のご案内

興正寺行事カレンダー

1月

普門園拝観時間 10:00~16:00
休園日/9日(月・祝)

月	火	水	木	金	土	日
26 友引	27 先負	28 仏滅	29 赤口	30 先勝	31 友引	1 先負 元旦
2 仏滅 振替休日	3 大安	4 赤口	5 先勝 小寒	6 友引	7 先負	8 仏滅
			大随求明王			大日如来
9 大安 成人の日	10 赤口	11 先勝 戌の日	12 友引	13 先負	14 仏滅	15 大安
				虚空蔵菩薩		阿弥陀如来
16 赤口	17 先勝	18 友引	19 先負	20 仏滅 大寒	21 大安	22 赤口
		観世音菩薩			☆TERA-YOGA 弘法大師 興正寺マルシェ	
23 先勝 戌の日	24 友引	25 先負	26 仏滅	27 大安	28 先勝	29 友引
	地藏菩薩				不動明王	
30 先負	31 仏滅	1 大安	2 赤口	3 先勝	4 友引	5 先負

初弘法 授戒

1月21日(土) 弘法堂
10:30~11:30
限定50名(先着順)

◆お授戒とは…?

仏の示された戒めを阿闍梨さまより直接授かり、ご法話をいただく儀式です。

◆戒とは…?

「仏の心の在り方」を説くのが「戒」の教えです。
現代の人々にこそ思い出していただきたい規範と言えるでしょう。



授与品 菩薩戒

— 興正寺は自然環境に配慮し、地球環境保全に貢献しています —